

リトルア剤 フェロディン SL	取扱メーカー： 協友アグリ，サンケイ*，住友化学 原体メーカー： 住友化学
成分： (Z, E)-9, 11- テトラデカジエニル＝アセタート…4.55 mg／1 個 (Z, E)-9, 12- テトラデカジエニル＝アセタート…0.45 mg／1 個	性状： 赤褐色中空円筒様弾性物質 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

- ハスモンヨトウの雌成虫が放出する性フェロモンを製剤化したものである。
- ハスモンヨトウの雄成虫を大量に誘引するので、トラップとの併用により雄成虫を捕殺し、受精卵数と次世代の幼虫を減少させることが可能である。
- 従来の殺虫剤に対して感受性が低下したハスモンヨトウにも有効である。
- ハスモンヨトウの雄成虫のみに作用し、天敵を含む他の生物及び自然環境に影響を与えない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 広い地域におけるハスモンヨトウの密度低下を目的に使用する。個々の畑や狭い地域で使用する、他地域から交尾した雌蛾が飛び込んで産卵し、十分な効果は得られない。
- ハスモンヨトウ成虫の発生初期から継続的に使用する。
- トラップ1台当り、本剤を1個取り付けて設置する。

●トラップの標準的な設置台数は、1ha 当り2～4台であるが、対象地域の条件によって適宜増減する。

●トラップは樹木や建物から離れた風通しのよい場所に、地上1～1.5mの高さ(作物の高さよりも高く)に支柱などを立て、固定する。

●必ず使用直前に必要個数だけアルミ箔を開封する。

●開封後1.5～2カ月経つと誘因効果が低下するので、新しいものと交換する。

●トラップの設置中はハスモンヨトウの発生密度に応じて巡回し、トラップが捕殺された成虫でいっぱいになる前に処理する。

【薬効・薬害等の注意】

●ハスモンヨトウの発生に応じて、他の防除法を併用する。

●ハスモンヨトウ以外の害虫には効果がないので、他の害虫が発生した時は殺虫剤などにより防除する。

●使用前の本剤は直射日光をさけ、低温の場所に保管する。

【適用と使用法】

作物名	適用場所	使用目的	適用害虫名	使用量	使用時期	使用方法
いも類，豆類，なす科野菜，あぶらな科野菜，レタス，れんこん，にんじん，ねぎ類，いちご，たばこ，まめ科牧草等	ハスモンヨトウ 加害作物栽培地帯	誘引	ハスモンヨトウ 雄成虫	2～4 個／ha	成虫発生 初期から 発生終期 まで	本剤をトラップ1 台当り1個を取り 付けて配置する。 取り付けた薬剤 は1.5～2カ月間 隔で更新する。